

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成20年11月14日

【四半期会計期間】 第166期第2四半期(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

【会社名】 尾張精機株式会社

【英訳名】 OWARI PRECISE PRODUCTS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 木村進一

【本店の所在の場所】 名古屋市東区矢田三丁目16番85号

【電話番号】 (052)721 - 7131(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部部长 児玉啓二

【最寄りの連絡場所】 愛知県尾張旭市下井町はねうち2345番地の1

【電話番号】 (0561)53 - 4121(代表)

【事務連絡者氏名】 総務部部长 児玉啓二

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

連結経営指標等

回次	第166期 第2四半期連結累計期間	第166期 第2四半期連結会計期間	第165期
会計期間	自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日	自 平成19年4月1日 至 平成20年3月31日
売上高 (千円)	9,187,835	4,419,554	19,812,010
経常利益 (千円)	442,942	188,267	1,476,369
四半期(当期)純利益 (千円)	258,007	190,705	795,051
純資産額 (千円)		8,878,068	8,874,167
総資産額 (千円)		14,315,826	14,968,235
1株当たり純資産額 (円)		770.30	766.31
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	22.39	16.56	71.91
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益 (円)			
自己資本比率 (%)		61.9	59.0
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	829,134		1,194,660
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	811,831		1,105,388
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	257,501		377,674
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)		1,233,066	1,522,826
従業員数 (名)		485	473

(注) 1 売上高には消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）において営まれて
いる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

3 【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4 【従業員の状況】

(1) 連結会社における状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	485(193)
---------	----------

(注) 1 従業員数は就業人員であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員（パートタイマー及び短期の受入出向社員）の当第2四半期連結会
計期間の平均雇用人員であります。

(2) 提出会社の状況

平成20年9月30日現在

従業員数(名)	322(169)
---------	----------

(注) 1 従業員数は、就業人員（当社から社外への出向者を除き、社外から当社への出向者を含んでおります。）
であります。

2 従業員数欄の（外書）は、臨時従業員（パートタイマー及び短期の受入出向社員）の当第2四半期会計期
間の平均雇用人員であります。

第2 【事業の状況】

1 【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	生産高(千円)
精密鍛造品	2,748,645
ねじ類	1,655,321
航空機部品	73,057
合計	4,477,023

(注) 1 金額は、受注価格で表示しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第2四半期連結会計期間における受注実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	受注高(千円)	受注残高(千円)
精密鍛造品	2,634,677	790,309
ねじ類	1,689,332	835,181
航空機部品	88,660	154,651
合計	4,412,669	1,780,141

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績を製品別に示すと、次のとおりであります。

製品別	販売高(千円)
精密鍛造品	2,692,003
ねじ類	1,689,146
航空機部品	38,404
合計	4,419,554

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	当第2四半期連結会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)
アイシン・エーアイ株式会社	1,125,006	25.5
マツダ株式会社	712,770	16.1
トヨタ自動車株式会社	614,198	13.9

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 業績の概況

当第2四半期連結会計期間のわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した金融・資本市場の混乱拡大、原油・原材料高の継続等により、後退局面に入りました。

このような経済情勢のなかで、当社の主要な得意先であります自動車業界の新車の国内販売台数は、小型車、軽自動車ともに減少し前年同期を下回りました。また、国内生産台数は、前年同期を5.6%上回りました。

こうした状況のもと当社は、お客様に信頼をいただくため、競争力の高い高品質の製品づくりと販売強化に努めましたが、当第2四半期連結会計期間の売上高は4,419百万円となりました。

製品別の売上につきましては、精密鍛造品 2,692百万円、ねじ類 1,689百万円、航空機部品 38百万円となりました。

利益につきましては、ムダの排除、ロスコストの低減、物流改善などを進めましたが、営業利益は223百万円、経常利益は188百万円、四半期純利益は190百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、第1四半期連結会計期間末と比較して385百万円減少し、14,315百万円となりました。その主な原因は、賞与の支払による現金及び預金の減少と、売上債権の減少によるものであります。

負債は、第1四半期連結会計期間末と比較して479百万円減少し、5,437百万円となりました。これは、仕入債務が減少したことによりです。

純資産については、その他有価証券評価差額金が82百万円減少したものの、四半期純利益190百万円により93百万円増加し8,878百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、第1四半期連結会計期間末に比べ322百万円減少し、1,233百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における営業活動による資金は、税金等調整前四半期純利益204百万円、減価償却費213百万円等による増加に対し、たな卸資産の増加109百万円や賞与の支払による賞与引当金の減少162百万円等により、77百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間における投資活動に使用した資金は279百万円となりました。これは主に生産設備の増強のための設備投資によるものであります。

当第2四半期連結会計期間における財務活動に使用した資金は119百万円となりました。これは、借入金の返済及び配当金の支払によるものであります。

(3) 事業上及び財務上対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結会計期間における研究開発費の金額は606千円であります。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発の状況に重要な変更はありません。

第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、第1四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設、除却等について重要な変更並びに重要な設備計画の完了はありません。

また、当第2四半期連結会計期間内において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等はありません。

第4 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	28,052,000
計	28,052,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成20年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成20年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,659,500	11,659,500	名古屋証券取引所 市場第二部	
計	11,659,500	11,659,500		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成20年9月30日		11,659		1,093,978		757,360

(5) 【大株主の状況】

平成20年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
三菱マテリアル株式会社	東京都千代田区大手町一丁目5番1号	1,436	12.32
トヨタ自動車株式会社	愛知県豊田市トヨタ町1番地	1,164	9.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号	559	4.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再 信託分・CMTBエクイティイ ンベストメンツ株式会社信託 口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	526	4.51
アイシン・エーアイ株式会社	愛知県西尾市小島町城山1番地	495	4.25
東栄株式会社	愛知県名古屋市中区錦二丁目20番8号	454	3.90
三菱UFJリース株式会社	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号	346	2.97
あいおい損害保険株式会社	東京都渋谷区恵比寿一丁目28番1号	315	2.70
株式会社中京銀行	愛知県名古屋市中区栄三丁目33番13号	295	2.54
イトウ金属株式会社	愛知県愛知郡日進町大字岩藤新田字七ツ 塚 23番地	180	1.54
計		5,776	49.52

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成20年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 163,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,258,000	11,258	
単元未満株式	普通株式 238,500		1 単元(1,000株)未満株式
発行済株式総数	11,659,500		
総株主の議決権		11,258	

- (注) 1 「完全議決権株式(自己株式等)」本欄は全て当社保有の自己株式であります。
2 「完全議決権株式(その他)」本欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式1,000株(議決権1個)が含まれております。
3 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式627株が含まれております。

【自己株式等】

平成20年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 尾張精機株式会社	名古屋市東区矢田三丁目 16番85号	163,000		163,000	1.40
計		163,000		163,000	1.40

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成20年 4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	316	363	335	328	311	327
最低(円)	290	301	320	303	293	271

(注) 最高・最低株価は、名古屋証券取引所(市場第二部)によるものであります。

3 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動はありません。

第5 【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号、以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第2四半期連結会計期間(平成20年7月1日から平成20年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人コスモスにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,981,323	2,201,601
受取手形及び売掛金	3,508,487	3,874,819
製品	566,158	534,239
商品	142,294	143,324
原材料	421,466	351,304
仕掛品	454,852	464,139
貯蔵品	318,783	339,422
繰延税金資産	218,918	275,976
その他	237,488	655,316
貸倒引当金	151	61
流動資産合計	7,849,622	8,840,082
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,433,253	1,491,033
機械装置及び運搬具(純額)	2,681,803	2,393,594
土地	700,094	715,951
その他(純額)	174,400	78,235
有形固定資産合計	4,989,552	4,678,814
無形固定資産	2,622	2,627
投資その他の資産		
投資有価証券	777,387	834,419
繰延税金資産	19,584	25,913
前払年金費用	438,049	364,379
その他	241,807	224,797
貸倒引当金	2,800	2,800
投資その他の資産合計	1,474,029	1,446,710
固定資産合計	6,466,204	6,128,152
資産合計	14,315,826	14,968,235

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,168,900	3,334,464
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	312,000	378,600
未払費用	498,261	555,856
未払法人税等	171,095	520,716
未払消費税等	23,532	73,031
賞与引当金	266,300	282,800
役員賞与引当金	8,800	700
製品保証引当金	119,000	119,000
設備関係支払手形	122,994	97,586
その他	155,129	64,387
流動負債合計	4,946,013	5,527,142
固定負債		
長期借入金	192,500	315,000
繰延税金負債	126,420	116,297
退職給付引当金	36,157	50,142
役員退職慰労引当金	58,384	85,485
その他	78,281	-
固定負債合計	491,744	566,925
負債合計	5,437,758	6,094,067
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,978	1,093,978
資本剰余金	757,360	757,360
利益剰余金	6,942,217	6,742,053
自己株式	63,830	52,973
株主資本合計	8,729,726	8,540,419
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	229,897	264,200
為替換算調整勘定	104,366	33,086
評価・換算差額等合計	125,531	297,286
少数株主持分	22,810	36,461
純資産合計	8,878,068	8,874,167
負債純資産合計	14,315,826	14,968,235

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
売上高	9,187,835
売上原価	8,038,668
売上総利益	1,149,166
販売費及び一般管理費	
販売費	392,601
一般管理費	302,925
販売費及び一般管理費合計	695,526
営業利益	453,639
営業外収益	
受取利息	12,298
受取配当金	8,023
その他	7,944
営業外収益合計	28,265
営業外費用	
支払利息	2,222
その他	36,740
営業外費用合計	38,963
経常利益	442,942
特別利益	
固定資産売却益	42
投資有価証券売却益	411
賞与引当金戻入額	18,390
特別利益合計	18,844
特別損失	
固定資産売却損	6,783
固定資産除却損	1,291
減損損失	8,192
特別損失合計	16,268
税金等調整前四半期純利益	445,518
法人税、住民税及び事業税	99,065
法人税等調整額	96,095
法人税等合計	195,160
少数株主損失()	7,649
四半期純利益	258,007

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
売上高	4,419,554
売上原価	3,856,077
売上総利益	563,476
販売費及び一般管理費	
販売費	188,750
一般管理費	151,482
販売費及び一般管理費合計	340,233
営業利益	223,242
営業外収益	
受取利息	822
その他	5,599
営業外収益合計	6,422
営業外費用	
支払利息	185
その他	41,212
営業外費用合計	41,397
経常利益	188,267
特別利益	
投資有価証券売却益	411
賞与引当金戻入額	18,390
特別利益合計	18,802
特別損失	
固定資産売却損	1,846
固定資産除却損	711
特別損失合計	2,558
税金等調整前四半期純利益	204,510
法人税、住民税及び事業税	69,997
法人税等調整額	87,991
法人税等合計	17,994
少数株主損失()	4,188
四半期純利益	190,705

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	445,518
減価償却費	396,759
減損損失	8,192
貸倒引当金の増減額（は減少）	89
賞与引当金の増減額（は減少）	16,500
役員賞与引当金の増減額（は減少）	8,100
退職給付引当金の増減額（は減少）	13,984
役員退職慰労引当金の増減額（は減少）	27,101
受取利息及び受取配当金	20,321
支払利息	2,222
為替差損益（は益）	18,239
有形固定資産売却損益（は益）	42
有形固定資産除売却損益（は益）	8,075
投資有価証券売却損益（は益）	411
売上債権の増減額（は増加）	349,432
たな卸資産の増減額（は増加）	95,566
仕入債務の増減額（は減少）	158,726
未払消費税等の増減額（は減少）	49,499
前払年金費用の増減額（は増加）	73,669
その他の資産の増減額（は増加）	425,519
その他の負債の増減額（は減少）	46,803
小計	1,253,127
利息及び配当金の受取額	20,321
利息の支払額	2,222
法人税等の支払額	442,092
営業活動によるキャッシュ・フロー	829,134
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	643,633
定期預金の払戻による収入	574,151
有形固定資産の取得による支出	713,825
有形固定資産の売却による収入	1,383
投資有価証券の取得による支出	899
投資有価証券の売却による収入	629
貸付けによる支出	2,000
貸付金の回収による収入	4,019
その他の支出	37,422
その他の収入	5,766
投資活動によるキャッシュ・フロー	811,831

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間
(自平成20年4月1日
至平成20年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	100,000
短期借入金の返済による支出	100,000
長期借入金の返済による支出	189,100
自己株式の売却による収入	462
自己株式の取得による支出	11,498
配当金の支払額	57,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	257,501
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,560
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	289,759
現金及び現金同等物の期首残高	1,522,826
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,233,066

【継続企業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
会計処理の原則及び手続の変更 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)を第1四半期連結会計期間から適用し、棚卸資産の評価基準については、売価還元原価法から売価還元原価法(収益性が低下した場合は正味売却価額まで簿価を切り下げる方法)に変更しております。なお、これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
法人税等の算定方法 提出会社におきましては、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
税金費用の計算 連結子会社につきましては、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積り実行税率を乗じて計算しております。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
(有形固定資産の耐用年数の変更) 当社の機械装置については、従来耐用年数を4～13年としておりましたが、第1四半期連結会計期間より、税制改正を契機とし見直しを行った結果4～10年に変更しました。 これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ37,082千円減少しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額	15,594,118千円	15,382,170千円
2 債務保証 借入債務 合克薩斯精工(嘉興)有限公司	118,762千円	118,086千円

(四半期連結損益計算書関係)

第2四半期連結累計期間

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額	
(1) 販売費	
給与・賞与手当	115,158千円
賞与引当金繰入額	33,340千円
退職給付費用	4,277千円
荷造運賃	141,149千円
減価償却費	6,177千円
(2) 一般管理費	
役員報酬	51,740千円
給与・賞与手当	82,384千円
賞与引当金繰入額	18,740千円
役員賞与引当金繰入額	8,800千円
役員退職慰労引当金繰入額	6,710千円
退職給付費用	2,608千円
事務費	34,711千円
減価償却費	4,630千円

第2四半期連結会計期間

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち 主要な費目及び金額	
(1) 販売費	
給与・賞与手当	54,684千円
賞与引当金繰入額	14,140千円
退職給付費用	2,102千円
荷造運賃	70,898千円
減価償却費	3,089千円
(2) 一般管理費	
役員報酬	22,665千円
給与・賞与手当	44,089千円
賞与引当金繰入額	7,141千円
役員賞与引当金繰入額	8,800千円
役員退職慰労引当金繰入額	3,289千円
退職給付費用	1,297千円
事務費	18,052千円
減価償却費	2,451千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係		
	期末残高(千円)	左記のうち現金及び 現金同等物(千円)
現金及び預金残高	1,981,323	1,233,066
短期借入金勘定	412,000	
現金及び現金同等物の 期末残高		1,233,066
(注) 現金及び預金残高の期末残高と現金及び現金同等物の差額は、 預入期間が3か月を超える定期預金によるものであります。		

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

1 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	11,659,500

2 自己株式に関する事項

株式の種類	当第2四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	163,627

3 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年6月27日 定時株主総会	普通株式	57,664	5	平成20年3月31日	平成20年6月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成20年11月14日 取締役会	普通株式	34,487	3	平成20年9月30日	平成20年12月1日	利益剰余金

5 株主資本の著しい変動に関する事項

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
前連結会計年度末残高(千円)	1,093,978	757,360	6,742,053	52,973	8,540,419
当第2四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当(千円)			57,664		57,664
四半期純利益(千円)			258,007		258,007
自己株式の取得(千円)				11,498	11,498
自己株式の処分(千円)			179	641	462

当第2四半期連結会計期間末までの 変動額合計(千円)			200,164	10,856	189,307
当第2四半期連結会計期間末残高(千 円)	1,093,978	757,360	6,942,217	63,830	8,729,726

平成20年8月から第2四半期連結会計期間末までに市場から9,523千円を取得いたしました。

(リース取引関係)

所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当四半期連結会計期間におけるリース取引残高は前連結会計年度末に比べて著しい変動が見られないため、記載しておりません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

自動車等の輸送用機器部品に係る売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため記載を省略しております。

【海外売上高】

当第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため記載を省略しております。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
770.30円	766.31円

2 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益

第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	22.39円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	258,007
普通株式に係る四半期純利益(千円)	258,007
普通株式に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,524

第2四半期連結会計期間

当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	
1株当たり四半期純利益	16.56円
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり四半期純利益の算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益(千円)	190,705
普通株式に係る四半期純利益(千円)	190,705
普通株式に帰属しない金額(千円)	
普通株式の期中平均株式数(千株)	11,518

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第166期（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）中間配当については、平成20年11月14日開催の取締役会において、平成20年9月30日の最終の株主名簿及び実質株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	34,487,619円
1株当たりの金額	3円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成20年12月1日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月12日

尾張精機株式会社
取締役会 御中

監査法人 コスモス

代表社員
業務執行社員 公認会計士 新開 智之

代表社員
業務執行社員 公認会計士 富田 昌樹

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている尾張精機株式会社の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者であり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、尾張精機株式会社及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

追加情報に記載されているとおり、会社は第1四半期連結会計期間より機械装置について耐用年数の変更を行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。